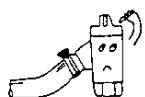


ガス器具をお使いになる時のご注意



ガスゴム管も
ときどき点検
よいゴム管を
カッチリと



ガス器具を
お使いになった
あとは必ず
もとコックを
閉める習慣を



空だきには十分
注意しましょう。



ガス器具は
ガスの種類にあった
正しいものを

- ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガス風呂釜〈セントラル給湯機能付き〉を、お求めいただきまして、ありがとうございます。

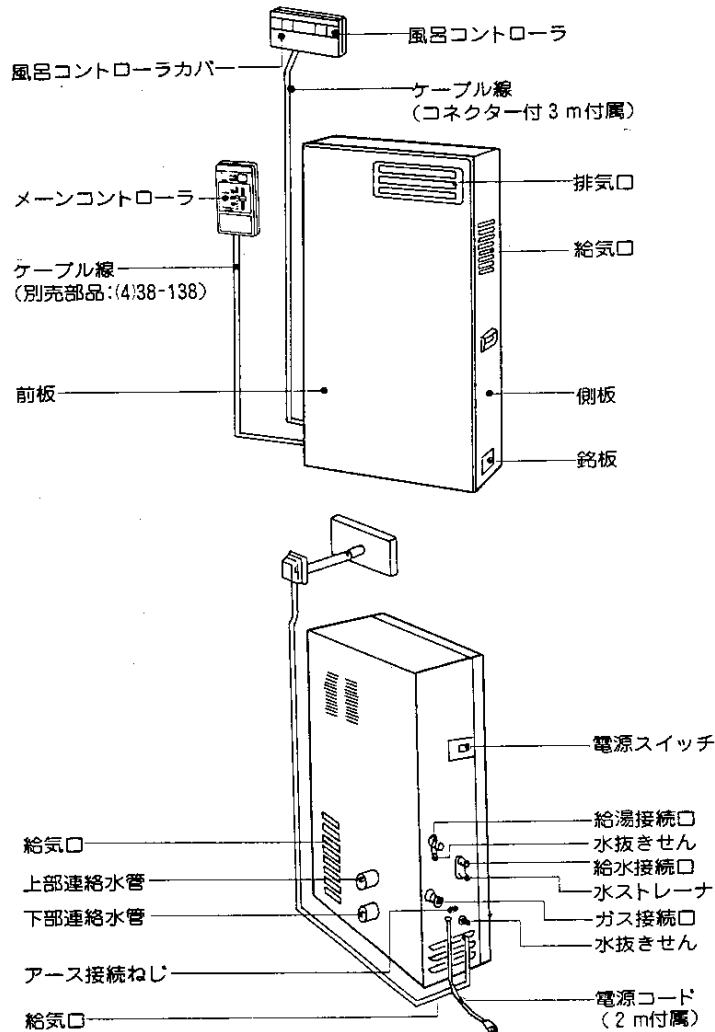
別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保存してください。

もくじ

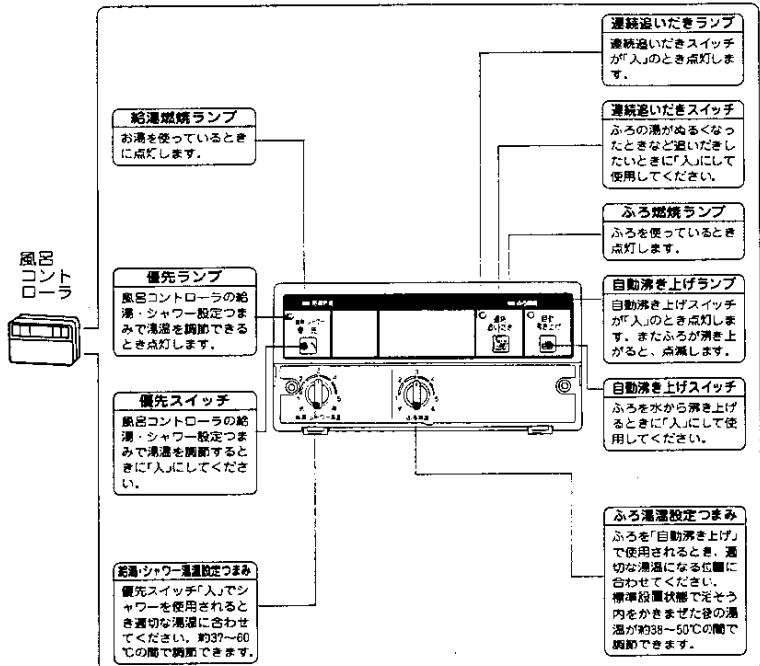
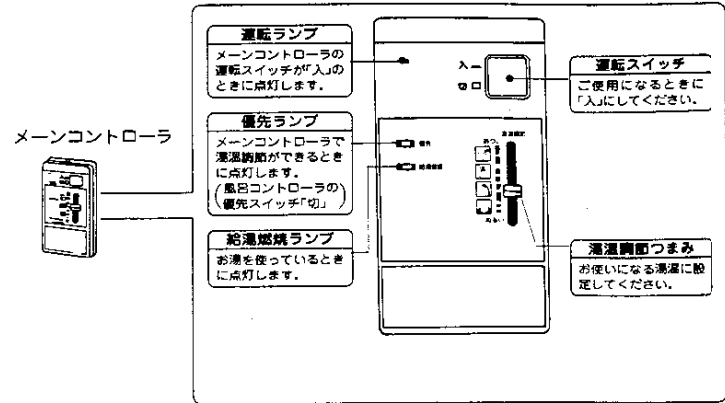
- 各部の名称..... 1
- 特に注意していただきたいこと..... 3
- 器具の設置..... 7
- 使用手順..... 8
- 使用時のご注意..... 16
- 凍結防止について..... 18
- 日常の点検・手入れ..... 20
- 故障・異常の見分け方と処置方法..... 21
- 長期間使用しない場合..... 23
- アフターサービスのお申し込み..... 23
- 寸法図と仕様一覧表..... 24
- 別売部品のご紹介..... 26

各部の名称

外観・構造



各部の名称 ②



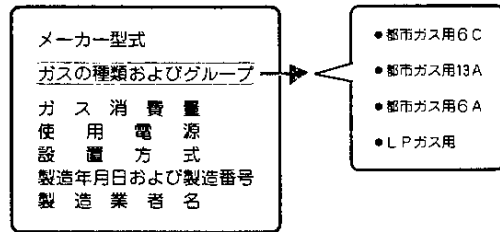
特に注意していただきたいこと

安全に正しくお使いいただくためにこの項は必ずお読みください。

使用ガスについてのご注意

- ガスの種類を確かめてください。

ガス器具本体右側面下部にはってある銘板(ラベル)に表示のガスの種類と、お宅のガスが一致しているかをまず確かめてください。



- ガスの種類には、都市ガスとLPGガスとがあり、都市ガスには、ガスグループの区分があります。
- 転宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

使用電源についてのご注意

- ガス器具本体右側面下部に貼ってある銘板(ラベル)に表示してある電源(電圧・周波数)以外の電源では使用しないでください。

用途についてのご注意

- 台所・シャワー・洗面などの給湯およびふろの沸き上げ、追っだし以外の用途には使用しないでください。

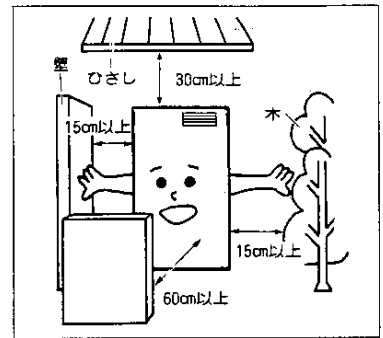
特に注意していただきたいこと②

市販の補助用具使用についてのご注意

- この器具用の付属品・補助用具以外は使用しないでください。(不完全燃焼などの原因になります。)
- 市販の湯ざめ防止器、または簡易シャワーセットなどを取り付けて使用しないでください。(器具の異常過熱などの原因になります。)

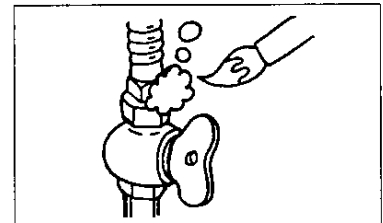
使用場所についてのご注意

- 壁、その他の可燃物から十分離れている場所で使用してください。



ガス漏れ予防

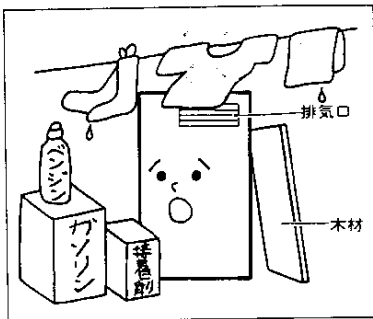
- 使用後は、燃焼ランプが消えたことを確かめてください。
- 長期間使用しないときは、メインコントロールの運転スイッチおよび本体電源スイッチを切りガス元せんを閉めてください。
- 配管や器具との接続部からガスが漏れていないか、ときどき石けん水などで調べてください。



特に注意していただきたいこと ③

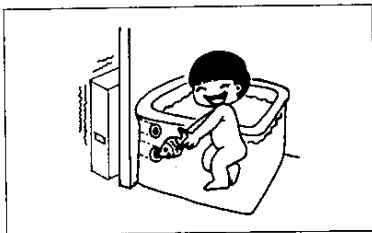
火災予防

- 器具の上や周囲には燃えやすいものを置かないでください。
特に、排気口は洗たく物などでおおわないでください。



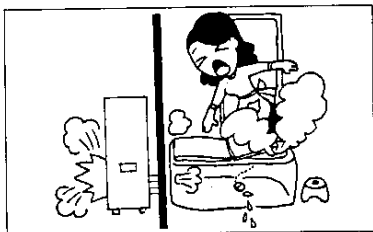
過熱防止

- ふろがまと浴そうを接続している上下水管口をタオルなどでふさがないでください。



- おふろを空だきさせないようにご注意ください。そのために次のことを必ず実行してください。

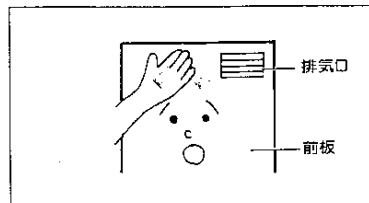
- ①排水せんは確実にしめてください。
- ②点火前にもう一度、水面が上部連絡水管口より10cm以上高くなっているか確かめてください。



特に注意していただきたいこと ④

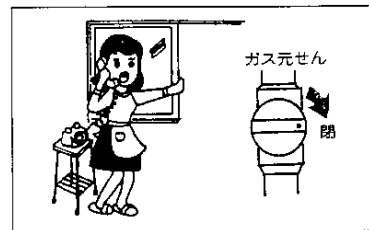
火傷にご注意

- 使用中および消火直後は、前板や、排気口が高温になっていますので、絶対に手を触れないでください。

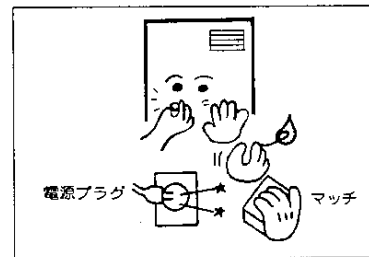


ガス事故防止

- ガス漏れに気づいたときはすぐ使用をやめ、ガス元せんを開め、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス社にご連絡ください。



- 万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり、換気扇その他電気器具に触れたり(スイッチの入、切や電源プラグの抜き差しなど)しないでください。火や火花で引火し爆発事故をおこすおそれがあります。



凍結についてのご注意

- 冬期は、寒冷地だけでなく、暖かい地方でも急な寒波のため器具内の水が凍って、器具を破損することがあります。
詳しくは、18~19ページの「凍結防止について」をお読みください。

特に注意していただきたいこと ⑤

異常時の処置

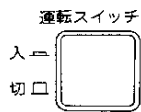
●万一、異常燃焼(メインバーナ着火時や使用中に“ゴー”と音のするような燃焼)をおこしたときや、緊急の場合には、下図の処置をし、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガス支社に連絡してください。

1. 給湯せんを閉める。



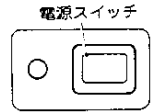
お湯の使用場所

2. 運転スイッチを切る



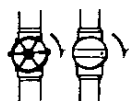
メインコントローラ

3. 電源スイッチを切る。



器具の左側面

4. 給水元せん・ガス元せんを閉める。



元せん

日常の点検・手入れ

- 日常の点検・手入れは、必ず行なってください。(詳しくは20ページをお読みください。)
- 故障または破損したと思われる場合は、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。不完全な修理は危険です。

器具の設置

(詳しくは工事説明書をお読みください。)

- 器具の設置は、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社に依頼してください。
- ご使用前に工事説明書通り正しく設置されていることを確認してください。

使用手順

点火前の準備と確認

1. 給水元せんを全開にしてください。



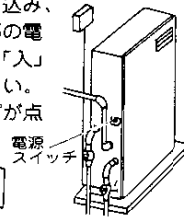
2. 給湯せんを開け、水の出ることを確認してから閉めてください。



3. ガス元せんを全開にしてください。



4. 電源プラグをコンセントに差し込み、器具の左側面の電源スイッチを「入」にしてください。(電源ランプが点灯します。)



給湯の使い方

■点火

①運転スイッチを「入」にします

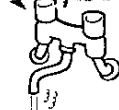
運転スイッチ



②給湯せんを開けます

- メインバーナに点火し、お湯が出ます。(点火と同時に、給湯燃焼ランプ)が点灯します。

給湯せん



- 給湯燃焼ランプが約7秒すぎてもつかない場合は、燃焼ランプが点滅して風呂コントローラのブザーが鳴ります。給湯せんまたはシャワーせんを閉めてから操作をしておしてください。

■湯温調節

(メインコントローラで湯温調節される場合)

- 優先ランプがついていることを確認したのち、湯温調節つまみで湯温を設定してください。優先ランプが消えているときは湯温調節ができません。この場合は、風呂コントローラの優先スイッチを「切」にしてください。メインコントローラの優先ランプがつかず、風呂コントローラの優先ランプは消えます。)

①湯温調節つまみで湯温を調節します

- お使いになる湯温に調節してください。湯温調節は約37℃～約80℃の間で調節できます。(季節や湯量により多少変化することがあります。)

□優先
□給湯燃焼



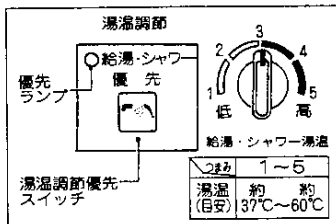
■給湯・シャワー
湯温調節つまみおよび混合水せんで温度を設定してください。

使用手順②

(風呂コントローラで湯温調節される場合)

- 給湯・シャワー湯温設定つまみをお使いになる湯温の数字にセットし、優先ランプがついていることを確認したのち、湯温調節をおこなってください。

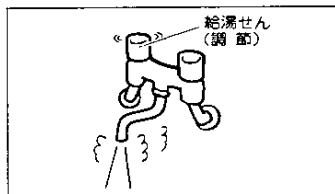
(優先ランプが消えている場合は優先スイッチを「入」にしてください。)



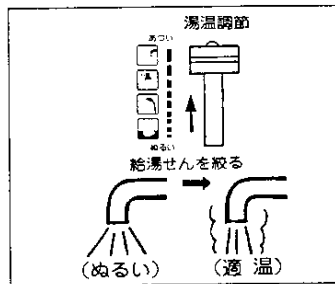
- 給湯・シャワー湯温設定つまみは、いったん「5」の位置まで回してから適切な湯温に合わせてください。

■ 給湯

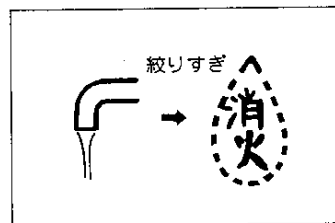
- 湯量の調節は、水道を使用される要領で給湯せんを調節してお使いください。



- 湯温調節つまみを「☐」または「☑」にして湯量を多く出しますと、湯温が熱くならないことがあります。このような場合には、湯量を絞ってお使いください。



- 湯量を約3ℓ/分以下に絞りますと、メインバーナの火が消えるようになっています。



使用手順(給湯の使い方)

使用手順③

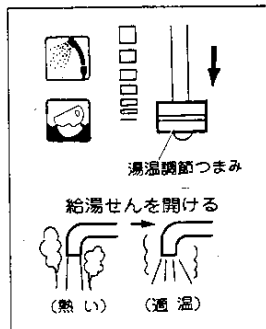
夏期には

- 水温が30°C近くになると、湯温調節つまみを「☐」または「☑」にセットしても湯量が少ない場合には湯温が熱くなります。このような場合は、湯量を多く出してお使いください。

(注)

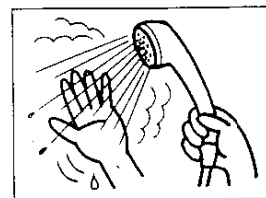
- 給湯せんで湯量を調節しますと、水の中の空気が分離して、気ほうとなり、湯が白くなることがありますが、空気ですので何ら心配はありません。
- 2ヵ所で同時使用されますと、ぬるくなったり湯量が少なくなることがあります。特に、シャワー使用中は同時使用はやめてください。
- シャワーをご使用のときは、いきなり体や頭にはかけずに、手で湯温を確認してからお使いください。

(シャワーをお使いになってお湯を止めた直後、再度お使いになるときや、湯量を急に絞ったときには、一瞬熱い湯が出ることがあります。)



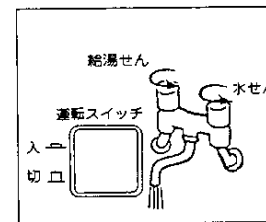
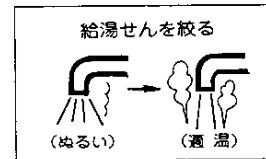
冬期には

- 水温が低い時、高温がとれない場合は、給湯せんを絞ってお使いください。



ソーラシステムと接続している場合

- 夏期には入水温度が50°Cを超えることがあります。50°C以下のお湯を使用されるとき(シャワー・台所・洗面・洗濯など)は、メインコントローラの運転スイッチを「切」にして、混合水せんで湯温を調節してお使いください。
- 入水温度が60°Cを超えますと、沸騰防止装置(入水温ハイカット)が働き自動的に燃焼をストップします。この安全装置は自動的に復帰します。(別売部品のソーラ用ハイリミットセット(4)36-057型を取付けている場合)

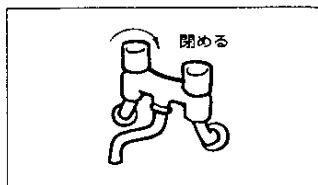


使用手順④

■消火

①給湯せんを閉めます

- メインバーナが消火し、給湯燃焼ランプが消えます。



ふろの使い方

- この器具には、ふろの沸かし方に自動沸き上げと、連続追いだきの2通りがあります。

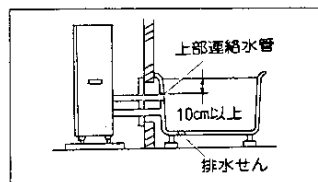
自動沸き上げ…設定温度に沸き上がると自動的に消火します。

連続追いだき…消火操作をおこなうまで燃焼し続けます。

水から沸き上げる場合は自動沸き上げで運転し、追いだきする場合は連続追いだきでお使いになることをおすすめします。

①浴そうに水(または湯)を入れます

- 排水せんがきちんと入っていることを確かめてください。
- 水(または湯)を上部連絡水管より10cm以上高くなるまで入れてください。
- 貯水量はできるだけ、いつも同じ量にしてください。



②運転スイッチを「入」にします

- メインコントローラの運転スイッチを「入」にしてください。

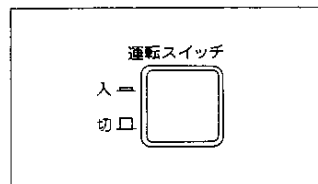
■点火 自動沸き上げの場合

①ふろ湯温設定つまみをセットします

- 適切な湯温になる位置に合わせてください。
- ふろ湯温設定つまみは、いったん「5」の位置まで回してから適切な湯温に調節してください。
(セット方法は12~13ページの「沸き上げ湯温調節」の項をお読みください)

②自動沸き上げスイッチを「入」にします

- 自動的にメインバーナに点火し自動沸き上げランプとふろ燃焼ランプが点灯します。

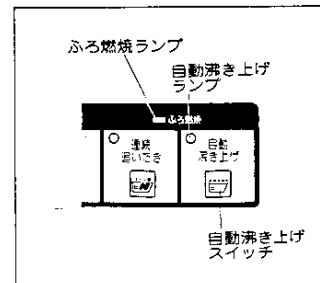


使用手順④ふろの使い方

使用手順⑤

〔注〕

- ふろ燃焼ランプが約7秒たっても点灯しないときは燃焼ランプが点滅してブザーが鳴ります。自動沸き上げスイッチを再度押して「切」にし自動沸き上げランプを消灯し、再度自動沸き上げスイッチを押して「入」にしてください。
- ふろ湯温設定つまみの設定温度に沸き上がると自動的に燃焼が止まり、ふろ燃焼ランプが消灯し約3分後にブザーが鳴ります。(約8秒間)同時に自動沸き上げランプが点滅をはじめます。



〔注〕

- 入浴されるときには、自動沸き上げスイッチを「切」にして、必ず浴そうの湯をかきまぜて湯温を確かめてください。
- 自動沸き上げの途中でふろ燃焼ランプが消灯しているときは、湯温検出中で異常ではありません。
- 前日の湯を再び利用される場合や、給湯器からの落とし込み、太陽熱温水器を利用されるときなど、浴そう内の水温が高い場合、自動沸き上げスイッチを「入」にしたとき、ふろ燃焼ランプが点灯と消灯を繰り返し、沸き上がるまでに時間がかかることがあります。このような場合は連続追いだきスイッチを「入」にするかふろ湯温設定つまみを「あつい」へ少しまわして沸き上げてください。
- 沸き上げ中は、浴そう内の湯をかきまぜないでください。
(設定温度に沸き上がるまでに時間がかかることがあります。)
- ふろ燃焼ランプ消灯後、浴そうの湯をかきまぜてもぬるい場合は、連続追いだきスイッチを「入」にして追いだきしてください。

■沸き上げ湯温調節

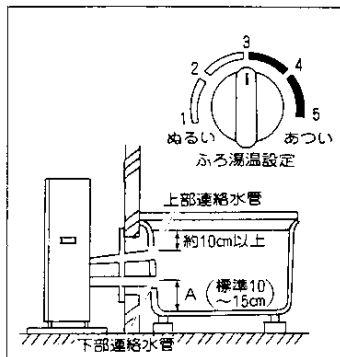
- 風呂コントローラのカバーを開け、ふろ湯温設定つまみを適切な位置に合わせてください。沸き上げてかきまぜた後の平均湯温で約38~50℃の範囲で調節できます。

使用手順 ⑥

●ふろ湯温設定は「3」でかきませた後湯温に沸き上がるように調整してありますが、水温・水量・施工状態により沸き上がり温度は多少変化します。

●ふろ湯温設定つまみの位置の目安(約42℃に沸き上げるための目安)

A寸法(cm)	位置の目安
5~10	「2」前後
標準 10~15	「3」前後
15~20	「4」前後



●上記の表の目盛で一度試運転し、熱いときは左へ、ぬるいときは右へ回し、湯温を設定しなおしてください。湯温設定は1目盛で約2~3℃の温度差があります。

●季節により好みの温度が変わるときや、沸き上がり温度がずれる場合は、必要に応じてふろ湯温設定つまみで調節してください。

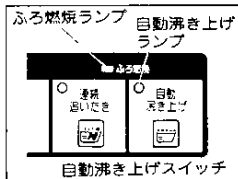
●浴そうの貯水量が変われば沸き上がり温度は変化しますので、毎回の貯水量はできるだけ一定にしてください。

■消火

●自動沸き上げで使用する場合は、湯温が設定温度になりますと、自動的にメインバーナが消火し、ふろ燃焼ランプが消えます。約3分後にブザーが鳴る(約8秒間)と同時に自動沸き上げランプが点滅をはじめます。

●途中で消火したいときは、自動沸き上げスイッチを「切」にしてください。

(燃焼開始後約4分間は、ふろ湯温設定つまみを「ぬるい」の方向へ回しても燃焼は止まりません。)



■点火 連続追いだきの場合

①連続追いだきスイッチを「入」にします

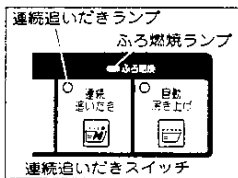
メインバーナに点火し追いだきをはじめます。

(連続追いだきランプとふろ燃焼ランプが点灯します。)

[注]

●浴そうの上部連絡水管より10cm以上の水(または湯)が入っていることを確認してから操作してください。

●入浴時は必ず浴そうの湯をかきませ湯温を確かめてください。



使用手順 ⑦

■消火

①連続追いだきスイッチを「切」にします。

メインバーナが消火し、ふろ燃焼ランプ、連続追いだきランプが消灯します。

[注]

●連続追いだきの場合は、沸き上げ検知しませんので湯温を適時確認して連続追いだきスイッチを「切」にしてください。

●給湯せんでお湯を使っているときの「自動沸き上げ」、「連続追いだき」の使用はできません。

運転モニターの表示と処置方法

運転モニター		表示内容と処置方法
ランプの表示	ブザー音	
自動沸き上げランプ(緑)点滅	8秒間鳴る	自動沸き上げ完了です。
ふろ燃焼ランプ(赤)と自動沸き上げランプ(緑)点滅 または ふろ燃焼ランプ(赤)と連続追いだきランプ(緑)点滅	8秒間鳴る	ふろの空だきまたは沸かし過ぎです。 (浴そうの水がなくなったか、沸かし過ぎて高温になっています。器具が高温になっていますので、注意して、水を入れてください。)
給湯燃焼ランプ(赤)点滅 または ふろ燃焼ランプ(赤)点滅	連続的に鳴る	ガス元せんが十分開いてないが、ガスがなくなったときに表示します。ガス元せんを十分開き2~3回点火操作を繰り返してください。 それでも正常にもとらない場合は器具が故障していますので、器具左側の電源スイッチを「切」にし、ガス元せん、給水元せんを開け、お求めの販売店またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。
(1)給湯燃焼ランプ(赤)と自動沸き上げランプ(緑)点滅 (2)ふろ燃焼ランプ(赤)と自動沸き上げランプ(緑)点滅 (3)ふろ燃焼ランプ(赤)と連続追いだきランプ(緑)点滅 (4)全ランプ(赤・緑)点滅	連続的に鳴る	器具が故障しています。 器具左側の電源スイッチを「切」にし、ガス元せん・給水元せんを開けてください。 そして、お求めの販売店またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。 (ただし、浴そうに水がない状態で点火して空だきをしたときも(4)の運転モニターを表示します。このときは器具が高温になっていますので注意して水を入れてください。)

使用手順 ⑧

停電時の処置

- 停電時は給湯せんを閉め、メインコントローラの運転スイッチを「切」にしてください。
- 再通電したときは、8ページ、11ページおよび13ページの「■点火」に従って操作してください。

断水の場合

- 断水時は給湯せんを閉め、メインコントローラの運転スイッチを「切」にしておいてください。
- 再通水したときは、8ページの「■点火」に従って操作してください。

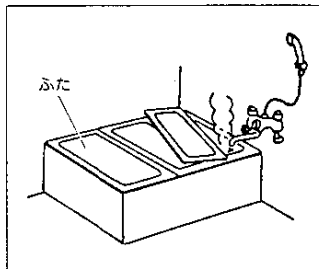
上手な使い方

こまめに湯温切替を!

- 水の混合は避け、用途に合わせ、こまめに湯温切替すると、より経済的です。(混合水せんで湯温調節しますと、調節する間に流れる水とガスがムダになります。)

ふろへの給湯・沸き上げは……

- 給湯で湯を入れられる場合は、入浴される湯温より少し熱めで給湯し、浴そうにはふたをして、放熱ロスを防いでください。
- ご家族全員が続けて入れる頃に浴そうに給湯もしくは沸き上がるようにしましょう。



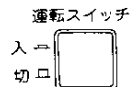
使用時のご注意

安全装置が作動したときの処置方法

- 点火しなかったり、ご使用中にメインバーナが消火したときは、21～22ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」に従ってください。

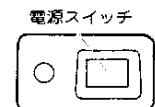
また、次の安全装置が働いた場合には、メインコントローラの運転スイッチを「切」にし、器具の左側面の電源スイッチを「切」にし、ガス元せん・給水元せんを閉めてから、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

1. 運転スイッチを切る。



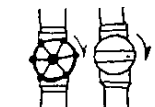
メイン
コントローラ

2. 電源スイッチを切る。



器具の左側面

3. 給水元せん・ガス元せんを閉める。



元せん

4. 購入店またはもよりの大阪ガス支社へ



連絡

立消え安全装置

- メインバーナの炎が消えたときは、安全装置が働いて自動的にガスが止まります。

過圧防止安全装置

- 器具内の水圧が異常に上昇したときに作動し、器具内の圧力を下げて、器具の損傷を防止します。

給湯空だき安全装置(バイメタル式)

- 万一、メインバーナの火が消えずに、湯温が異常温度上昇したときは、ガスを自動的にストップします。この安全装置は自動的に復帰します。

ふろ空だき安全装置(バイメタル式)

- 排水せんなどからの水漏れによりふろがまを空だきしたときは、熱交換器の温度上昇を感知して、ふろの沸き上げ、追い焚きを自動的にストップします。この安全装置は自動的に復帰します。

使用時のご注意 ②

器具過熱防止装置(温度ヒューズ)

- 万一、器具が異常温度上昇したときは、ガスを自動的にストップします。この装置が作動した場合は、温度ヒューズの取り替えが必要です。

漏電安全装置

- 器具内の電気回路に異常が occuri、漏電などの危険が生じると、電気を自動的に停止します。この安全装置は自動復帰しません。電源プラグをコンセントから抜き、再度コンセントに差し込んで異常が直らないときは、電源プラグを抜き、お求めの販売店またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

使用時の一般的な注意事項

たまった水は飲まないでください

- 器具内に長時間たまった水は、飲用または調理に用いないでください。

健浴剤や洗剤についてのご注意

- 硫黄・酸・アルカリを含んだ健浴剤や洗剤は熱交換器が腐食する原因となるものがありますので、健浴剤等のご注意文をじゅうぶんご参照ください。

雷時の注意

- 激しい雷が接近したときは、使用を中止し電源プラグを抜いてください。

お出かけや、長時間使用しない場合

- メーンコントローラの運転スイッチ、器具左側面の電源スイッチを「切」にし(電源ランプが消えます)ガス元せんを閉めてください。

1. 運転スイッチを「切」にする。
2. 電源スイッチを「切」にする。
3. ガス元せんを閉める。

運転スイッチ



メーンコントローラ

電源スイッチ



器具の左側面



元せん

凍結防止について



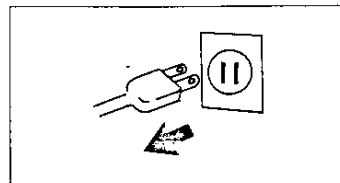
- 凍結すると器具や給湯配管が破損して、水漏れをおこしたり、器具が異常(空だきなど)をおこす危険があります。
- 凍結による修理は有料です。

凍結防止方法

①凍結予防ヒーターによる方法

- この器具には、外気温が0℃近くになるとサーモスタットの働きで自動的に器具内を保温する凍結予防ヒーターを組み込んでいます。

- 凍結予防ヒーターは電源プラグがはずれていると作動しません。絶対に電源プラグは抜かないでください。



- 凍結予防ヒーターは、器具左側面の電源スイッチ、およびメーンコントローラの運転スイッチの「入・切」に関係なく作動します。

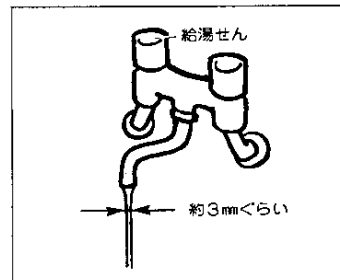
[注]

- 外気温が極端に低くなりますと、この凍結予防ヒーターだけでは効果ありません。このような場合は、次の②または③の方法を行なってください。
- 停電時には、凍結予防ヒーターが作動しませんので、次の②または③の方法を行なってください。

②給湯せんから水を流す方法

- ガス元せんを閉め、メーンコントローラの運転スイッチを「切」にして、お風呂の給湯せんを開け、1分間に約200cc(牛乳びん1本ぐらい)の水を浴そうに流し込んでください。

- 流量が不安定なことがありますので、念のため約30分後にもう一度流量をご確認ください。

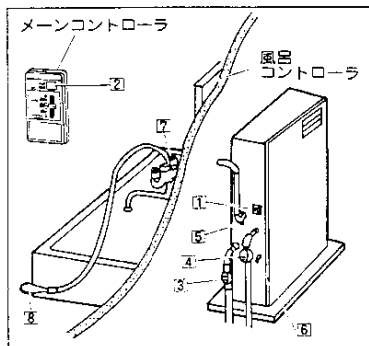


凍結防止について②

③ 水抜きによる方法

次の順序で行なってください。

- 1) 器具の電源スイッチを「切」にし、メインコントローラ②の運転スイッチを「切」にする。
- 2) ガス元せん③を開める。
- 3) 給水元せん④をしっかりと閉める。
- 4) 水抜きせん⑤を開ける。
- 5) 給湯せん⑥またはシャワーせん（シャワーを取りつけている場合）を全部開ける。
- 6) シャワーヘッド⑦を床面まで下げる。
 - 給湯せん⑥およびシャワーヘッド⑦と水抜きせん⑤、⑧から水が抜けるのを確認してください。
 - 次にお使いになるまで、このままにしておいてください。（水抜きせん⑤、⑧をはずしたままにしておいてください。）



〈水抜き後の使用方法〉

- 1) 水抜きせん⑤、⑧を元通りしっかりと閉める。
- 2) ガス元せんを止めた状態および器具左側面の電源スイッチ②を、「切」にした状態で給水元せん④を開け、給湯せん⑥およびシャワーヘッド⑦から水が出ることを確かめたのち給湯せん⑥およびシャワーせんを開める。
- 3) 8ページの「使用手順」に従ってお使いください。

ご 注 意

- もし凍結して水が出ないときは、使用をひかえメインコントローラの運転スイッチを「切」にした状態で、給湯せん⑥を開け、水が出るまで待ってからお使いください。
- ①および③の方法では、給水・給湯配管や、バルブ類の凍結防止はできません。凍結防止のため配管には、必ず保温材を巻いてください。

凍結したとき

- 凍結した場合、ガス元せんを開めてください。凍結したまま使われますと器具に異常が生じる場合があります。
- 凍結が解けたあと、水漏れがないのを確認のうえご使用ください。
- 器具や配管が破損しますと、高額な修理費用がかかる場合があります。（有料）

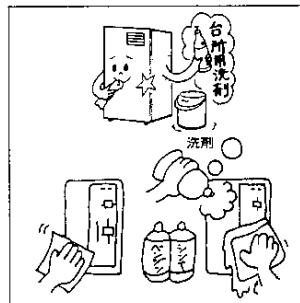
日常の点検・手入れ

点 検

- 器具および配管より水漏れ・ガス漏れはありませんか。（ガス漏れは、配管接続部に石けん水などを付けて調べてください。）
- 運転中に、器具から異常音が聞こえませんか。
- 器具の外観に異常は見られませんか。（特に器具の給気口・排気口はゴミ・異物がつまっていませんか。）
- 器具のまわりに燃えやすいものはありませんか。

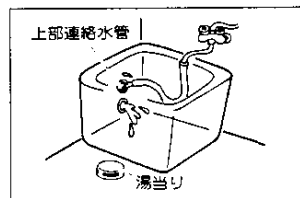
お手入れ

- 器具の表面が汚れたときは、布またはスポンジに台所用洗剤（中性洗剤）を付けてふき取ってください。シンナー・ベンジンなどではふかないでください。
 - コントローラ部の表面が汚れたときには、水をつけた布をかたく絞って、軽くふき取ってください。洗剤・シンナー・ベンジンなどは使用しないでください。
- 〔注〕・コントローラの内部には電気部品が入っていますので、ぬらさないようにしてください。
- ・器具の給気口は燃焼用の空気を吸込んでいます。ときどき給気口を点検し、ゴミ・異物が詰まっている場合は除去してください。



ふろ用熱交換器のお手入れ

- 上部連絡水管の湯当りははずし、水道のホースの先を上下交互に入れ、水を勢いよく出して、熱交換器内を洗ってください。（熱交換器内には使用中の湯あかが付着します。半年に1回程度お手入れをおこなってください。）



定期点検のおすすめ

- ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年1回程度の定期点検をおすすめします。お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。
- ふろがまが古くなると熱交換器やバーナにサビやスス、ほこり等が蓄積したりします。また取り付け場所によりバーナに「くも」が集まる場合があります。このような場合不完全燃焼を起すことがあり、ときどきご使用中に異常（異常音、排気に不快な臭い、目にしみる等）がないか確認してください。異常に気づかれた場合は、使用を中止し、ガスの元せんを開めて販売店またはもよりの大阪ガス支社へご連絡ください。

故障・異常の見分け方と処置方法

ご使用中に、ふだんと違った状態になったときや不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、ただちに使用を中止され、十分な点検をしてください。

(○=主要原因、△=原因)

現象		原因		処置方法		購入店またはもよりの大阪ガス支社
		○	△	○	△	
電源プラグがはずれている	ガス元せんの開き不十分	給湯せんの開けすぎ	給湯せんの開き不十分	給湯せんの開き不十分	給湯せんの開き不十分	*
		給湯せんの開き不十分	給湯せんの開き不十分	給湯せんの開き不十分	給湯せんの開き不十分	*
	給湯せんの開き不十分	給湯せんの開き不十分	給湯せんの開き不十分	給湯せんの開き不十分	*	
	給湯せんの開き不十分	給湯せんの開き不十分	給湯せんの開き不十分	給湯せんの開き不十分	*	
	給湯せんの開き不十分	給湯せんの開き不十分	給湯せんの開き不十分	給湯せんの開き不十分	*	
	給湯せんの開き不十分	給湯せんの開き不十分	給湯せんの開き不十分	給湯せんの開き不十分	*	
	給湯せんの開き不十分	給湯せんの開き不十分	給湯せんの開き不十分	給湯せんの開き不十分	*	
	給湯せんの開き不十分	給湯せんの開き不十分	給湯せんの開き不十分	給湯せんの開き不十分	*	
	給湯せんの開き不十分	給湯せんの開き不十分	給湯せんの開き不十分	給湯せんの開き不十分	*	
	給湯せんの開き不十分	給湯せんの開き不十分	給湯せんの開き不十分	給湯せんの開き不十分	*	
	給湯せんの開き不十分	給湯せんの開き不十分	給湯せんの開き不十分	給湯せんの開き不十分	*	
	給湯せんの開き不十分	給湯せんの開き不十分	給湯せんの開き不十分	給湯せんの開き不十分	*	
	給湯せんの開き不十分	給湯せんの開き不十分	給湯せんの開き不十分	給湯せんの開き不十分	*	
	給湯せんの開き不十分	給湯せんの開き不十分	給湯せんの開き不十分	給湯せんの開き不十分	*	

処置方法や原因のわからないときは、お買い求めの販売店または大阪ガス支社へご連絡ください。

故障・異常の見分け方と処置方法 ②

現象	原因		処置方法	購入店またはもよりの大阪ガス支社
	○	△		
湯温調節が適切でない			「使用手順」の「湯温調節」を参照する	*
ノズル詰まり	—		点検を依頼する (他に原因がないとき)	*
安全装置が作動			点検を依頼する (度々作動する場合)	*
水流スイッチの故障			点検を依頼する (他に原因がないとき)	*
電気部品の故障			点検を依頼する	*
停電			再通電するまで待つ	*
風呂コントローラの優先スイッチの「入」「切」が適切でない			風呂コントローラの優先スイッチの「入」「切」を正しく戻し、湯温調節つまみを好みの位置にする	*
漏電安全装置の作動・故障			点検を依頼する	*
浴そう内の水温が高い			ふる湯温設定つまみを「あつ」にするがまたは連続湯いだしスイッチを「入」にする。	*

次のような場合は故障ではありません。

現象	説明
寒い日に排気口から湯気がでる。	排気ガス中の水分が水蒸気になるためであり異常ではありません。
出湯停止後もファンの回転音がある。	再使用時の点火をより早くするため約7分間は回転しています。
給湯せんと絞るとお湯が白くなる。	水の中の空気が分離して気ほうとなるためです。
長時間、給湯を使っていると火が消える。	給湯を90分間連続して使うと自動的に火が消えるようになっています。
給湯せんと急に止めるとゴツンと音がすることがある。	給湯パイプに逆止弁を取り付けると、音がする場合がありますが、水が急に止まるために発生する音で異常ではありません。

長期間使用しない場合

- 必ずガス元せん・給水元せんを閉め、電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いて、水抜きをおこなってください。
(水抜きをしないと、冬期は凍結による器具の破損のおそれがあります)

アフターサービスのお申し込み

サービスのお申し込み

- 21～22ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の頂を見てもう一度ご確認ください。
- 確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないで買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。

(1)品名……………(ガス風呂釜)

(2)品番……………側板左下部に貼付してあります。

(3)現象……………(できるだけ詳しく)

(4)道順……………(できるだけ詳しく)

(N)31-056(U)

大阪ガス株式会社 03

転居される場合

ガスには都市ガス13種類およびLPガスの区分があります

- ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認のうえ、大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社にご相談ください。
この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

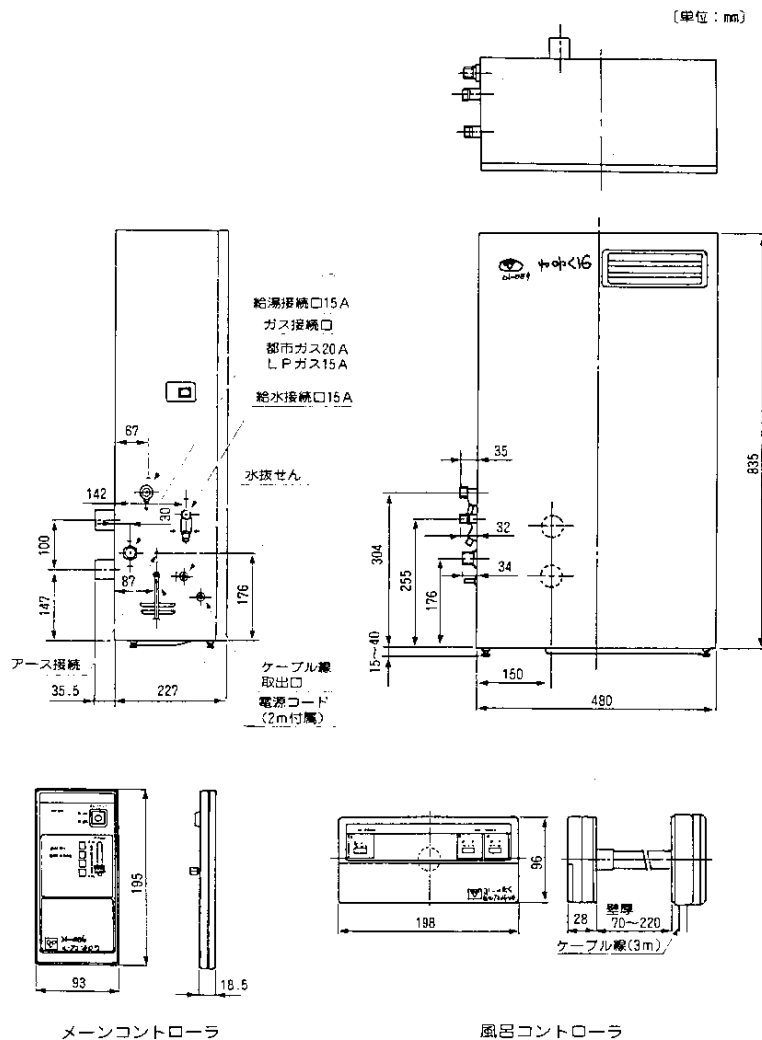
保証書について

この器具には保証書がついています

- このガス風呂釜は保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。
保証書を紛失されると、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますのでこの取扱説明書とともに大切に保管してください。

寸法図と仕様一覧表

寸法図



寸法図と仕様一覧表 ②

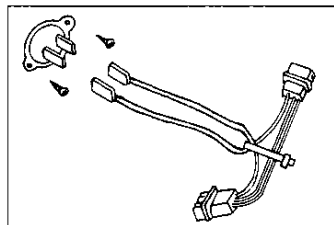
仕様一覧表

項目		品 種			
		31-056型			
ガ ス 種 類		都市ガス6C用	都市ガス13A用	都市ガス6A用	LPガス用
寸 法 (mm)	高 さ	850			
	幅	480			
	奥 行 き	227			
重 量 (kg)		31.5			
標 準 インプット (kcal/h)	風呂釜	10,000			
	湯沸器	30,100			
	同時使用	39,000			
最 大 消 費 ガ ス 量 (m ³ /h)	風呂釜	2.4	0.96	1.5	0.83(kg/h)
	湯沸器(大)	7.1	2.9	4.6	2.51(kg/h)
	同時使用	9.2	3.7	5.9	3.25(kg/h)
消 費 電 力 (W)		最大燃焼時88・凍結予防ヒーター 作動時64			
点 火 方 式		連続放電点火式			
熱 交 換 器	方 式	2缶2水路			
	材 質	風呂釜：ステンレス・湯沸器：銅製			
最低作動水圧 (kg/cm ²)		0.2			
最低作動水量 (ℓ/分)		3.5			
出 湯 能 力 (湯沸器)		16号～3.9号			
操 作 方 法		メインコントローラ、風呂コントローラによるリモコン操作			
湯沸器能力切替え		無段階			
接 続	ガ ス	20A		15A	
	連 結 水 管	45mmφ×ピッチ100mm			
	給 水	15A			
	給 湯	15A			
	電 気	器具本体電源AC100V(電源コード2m付)			
本体とコントローラとの 接 続		メインコントローラ……24V低圧用8心ケーブル(別売) 風呂コントローラ……24V低圧用14心ケーブル(3m付)			
安 全 装 備		立消え安全装置(フレイムロッド式)、風呂空だき安全装置、給湯空だき安全装置、器体過熱防止装置、過圧防止安全装置、漏電安全装置			
凍 結 防 止 対 策		凍結予防ヒーター			
付 属 品		メインコントローラ、風呂コントローラ(14心ケーブル3m付)、浴そう連結ゴム管2コ、締付けバンド4コ、銅管兼手袋ナット2コ、固定金具一式、アース棒(2.5mリード線付)			
別 売 部 品		36-150型・151型・152型(銅製) 8心ケーブル38-138型、連結水管 } 36-153型・154型・155型(ステンレス製) 厚壁用スリーブ：36-050型、排気カバー：36-056型 ソーラ用ハイリミットセット：36-057型			
日 水 協 認 可 登 録 番 号		L-357			
B L 認 可 番 号		*T-1885 KT0186			

●器具本体より第3種接地工事(アース)が必要です。

別売部品のご紹介

ソーラ用ハイリミットセット(36-057型)



おねがい

ガスくさいときはガスの元せんを閉め、窓を全開にしてから(火気に注意して)、大阪ガス本社・サービスステーションにご連絡ください。

メモ欄